



ひなどり

園だより 5月号
令和3年5月7日
新潟市立新津第三幼稚園

「いろいろなものの なまえを 知りたいですね。」

園長 川合 千尋

4月のお誕生会のことです。子どもたちに身近な自然を感じてもらいたくて花の名前のクイズを出しました。第①問目は「桜の花」です。さすがにみんなすぐに分かって大正解でした。第②問目は「たんぽぽ」です。これもすぐに分かってみんな正解です。その次にたんぽぽの綿毛（種子）の写真を出したら「わたげ」という答えが返ってきました。もしかしたら別のものとして考えている子もいるかもしれません。桜の花も散った後は「かれた」と言っていた子どももいました。花が散った後の新緑にはなかなか注目していないですものね。

みんな正解ばかりで、少し悔しくなって最後に難しい問題を出しました。春先にたくさん咲いていた「ヒメオドリコソウ」の写真（右）です。小さくてあまり目立たないので、きっと知らないかなと思いましたが、なんとすぐに答えてくれた子がいました。びっくりしましたが、うれしくなりました。おうちの方に「よく知っていましたね。」とお聞きすると、よく見つける花で「教えて、教えて」とせがまれて教えていたそうです。



ほんの少しのやりとりでしたが、子どもたちは日々いろいろなものの名前を覚えて、自分の世界を広げているのだなあと感じました。

今、子どもたちは園内でいろいろな野菜を育てています。その体験の中でまたいろいろなものの名前を覚えて、自分の世界をどんどん広げていってくれることと思います。子どもたちは、毎日の暮らしの中で様々な発見をして周りの大人にまだつたない言葉で一生懸命に伝えようとしたり、あるいは知らないことを質問したりすることでしよう。私たち大人は、とにかくいつも忙しいですが、できるだけそうした子どもたちの声に寄り添い、耳を傾けて答えてあげたいですね。そして、私たちにも分からないことがあったら、一緒になって調べて知りたいですね。

